

石油資源開発 ビジネスレポート

JAPEX

2019 秋・冬号 | 2019年4月1日～9月30日



長岡事業所 片貝鉱場の社員

石油資源開発株式会社

証券コード：1662

社長メッセージ



株主の皆さまにはますますご清祥のことと、
お慶び申し上げます。

「石油資源開発ビジネスレポート2019秋・冬号」
をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 社長執行役員

藤田 昌宏

はじめに

本年10月8日付にて、代表取締役社長 社長執行役員に就任いたしました。当社は、1955年の創業以来60年以上にわたり「エネルギーの安定供給」を使命に、わが国の石油開発事業の発展へ貢献するとともに、石油・天然ガスを軸とする事業を通じ成長と価値向上に取り組んでおります。

2018年5月に、「長期ビジョン2030」ならびに「中期事業計画2018-2022」を策定しており、本年度はその2年目にあたる重要な年です。昨年度に引き続き、中期事業計画の各重点施策を着実に実行していくことにより、当社の成長と企業価値向上を図っていく所存でございます。

2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間における売上高は1,623億円（前年同期比+472億円）となりました。前年同期に比べ増収となった主な要因は、原油の販売数量の増加に加え、カナダオイルサンド事業のハンギングストーン鉱区における希釈ビチューメンの販売数量が増加したことなどによるものです。営業利益は、主にカナダオイルサンド事業における重軽格差（カナダ産重質油と軽質油であるWTIとの価格差）の縮小による希釈ビチューメンの販売収支の改善などにより、77億円（同+89億円）となりました。経常利益は、136億円（同+123億円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、120億円（同+96億円）となりました。

上期(2019年4月～9月)における業績のポイント

▶ 中期事業計画達成に向けた事業の概況

中期事業計画達成に向けて、既存事業の着実な推進と新規事業案件の発掘を進めています

▶ 2020年3月期 第2四半期業績

営業利益 **77** 億円 | 四半期純利益 **120** 億円

▶ 2020年3月期 通期業績予想

営業利益 **117** 億円 | 当期純利益 **188** 億円

▶ 配当金

2020年3月期の年間配当予想修正
1株当たり40円から**50**円(中間25円・期末25円)に増額

／ 2020年3月期の業績予想および配当について

2020年3月期の通期連結業績は、第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、10月以降の原油CIF価格を1バレル65ドル、為替レートを1ドル107円と想定して、売上高3,183億円(前年比+503億円)、営業利益117億円(同+94億円)、経常利益218億円(同+93億円)、親会社株主に帰属する当期純利益188億円(同+40億円)へ上方修正しました。配当については、第2四半期業績および通期業績見通しなどを踏まえ、中間配当金は1株当たり5円増配の25円といたしました。また、期末配当金については1株当たり5円増配の25円、年間配当金は1株当たり10円増配の50円を予定いたします。

／ 事業の概況について

中期事業計画の達成に向けて、上期の主要事業の概況や主な取り組みについて、ご報告いたします。

E&P事業では、国内外において開発作業を着実に進めています。また、北海道日高沖で、海上基礎試錐の掘削調査を行いました。インフラ・ユーティリティ事業では、当社が出資する福島ガス発電(株)の福島天然ガス発電所で来年春の商業運転開始を目指し、計画通り建設が進んでおり、本年中に1号機の試運転が始まる予定です。新規事業では、再生可能エネルギーについて、既存案件への参入の検討を進めるなど、取り組みを展開しています。

株主の皆さまにおかれましては、当社への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

トピックス (2019年6月~12月)

● E&P事業 ● 非E&P事業 ● 会社情報

8月



北海道日高地域沖合での海上基礎試錐掘削調査終了

経済産業省資源エネルギー庁より受託した海上基礎試錐事業の一環で、北海道日高沖50km地点で掘削調査を実施し、一定量の天然ガス産出を確認しました。今後は、得られたデータの解析作業などを進めるほか、当社として同海域のさらなる探鉱の可能性を探っていきます。

10月



海外LNG取引に係る専従組織を設置

当社のLNG調達力の強化と海外におけるLNGトレーディング活動の拡大を視野に、海外LNG取引に係る機能を独立させ、より機動力を発揮できる新組織として「LNG販売調達部」を設置しました。シンガポール事務所と連携しながら、より柔軟で競争力のあるLNG調達を目指していきます。

11月



FGP発電所試運転へ発電燃料となるLNG気化ガスの供給を開始

当社が出資する福島ガス発電(株)(FGP)が建設を進める、福島天然ガス発電所(福島県・相馬港)の試運転の進捗にとまらぬ、11月下旬に、相馬LNG基地から発電燃料となるLNG気化ガスの供給を開始しました。なお、FGP発電所は、2020年春の営業運転開始に向け、年内に試運転における発電を開始する予定です。

今年も各地の夏祭りで地域の皆さまと交流

当社は、地域貢献および交流の一環として、国内事業拠点のある地域のイベントなどへ積極的に参加しています。なかでも、毎年8月頃に行われる各地の夏祭りへは、当社をあらためて認知してもらおうと同時に、地域活性化への貢献を目的に、さまざまな形で参加し、地域との交流を深めています。

<今年参加した主な夏祭り>

- ・第64回とまこまい港まつり(北海道苫小牧市)で、市民おどりに参加
- ・秋田竿灯まつり(秋田県秋田市)に、当社ロゴ入り提灯で参加
- ・長岡まつり(新潟県長岡市)で、民謡流しへの参加や大型打上げ花火の協賛
- ・遊海しんち2019(福島県新地町)で、会場設営などへボランティアとして参加



新潟県長岡市「長岡まつり」での民謡流しのようす

令和元年台風第19号により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

Pick Up

海外拠点における地域貢献活動 ～良好な関係構築を目指して～

当社は、事業活動を展開する国内外の各地で、地域のステークホルダーとの良好な関係の構築や維持を目指して、各地のニーズに応じたさまざまな地域貢献活動を行っています。今回はそのなかから、当社が参画する海外プロジェクトに関連する地域貢献活動をご紹介します。

カナダ・オイルサンドプロジェクト

当社がオイルサンド開発生産を推進するカナダ・アルバータ州では、現地子会社Japan Canada Oil Sands Limited (JACOS) が地域先住民との良好な関係を構築しています。

JACOSのイニシアティブのもと、地域先住民との協議体 [Indigenous Advisory Group (IAG)] を設立し、定期ミーティングを通じて環境保全に関する知見やアイデアを共有するとともに、現場視察や文化交流セレモニーなど相互理解の促進に努めています。

また、環境モニタリングや土地の復旧といった新たな事業の受注機会の取得を目指す先住民の方々へは、分野ごとに改善点の提案を行うなどの支援も行っています。



漁船用ボートエンジンの寄贈(インドネシア・カンゲアンプロジェクト)

インドネシア・カンゲアンプロジェクト

今年3月にシラスン・バトゥールガス田における天然ガス生産を開始するなど、現地での天然ガス開発生産に取り組むインドネシアでは、持分法適用会社Kangean Energy Indonesia Ltd. (KEI) が、生産拠点の一つであるパゲルンガン島の約6千人の島民への支援を行っています。

生産基地の設備を活用した電力や水の提供、地域診療所への基地駐在医師派遣に加え、地域の教育・健康・経済・インフラへの活用資金として毎年一定額を寄付しています。

イラク・ガラフプロジェクト

原油の開発生産に参画するイラクでは、オペレーターのパトロナス社とともに、周辺地域への支援を行っています。教育施設に対しては、建物の補修や視力検査の実施、眼鏡や学用品の配布を行い、また浄水へのアクセス改善のため小型の浄水施設を寄贈しました。加えてラマダン月には食糧を、犠牲祭には食肉を、油田周辺地域の低所得層家庭へ配布しています。

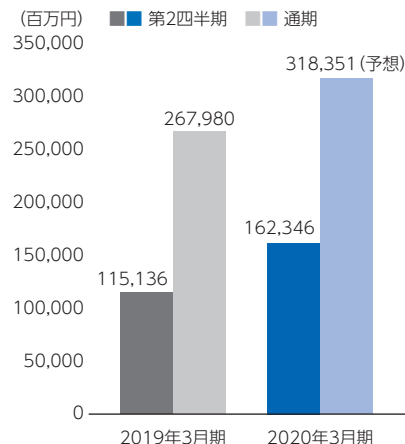


ラマダン月における食糧配布(イラク・ガラフプロジェクト)

連結業績ハイライト

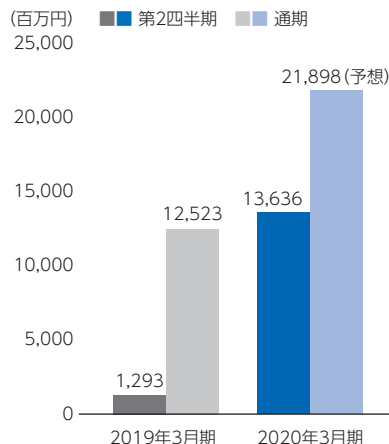
売上高

162,346百万円



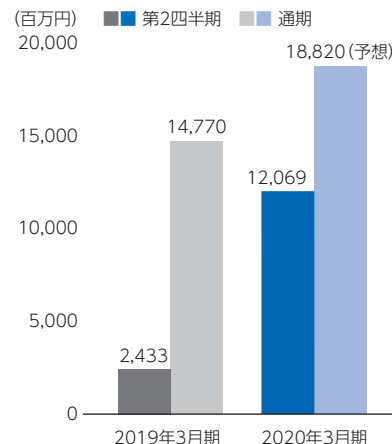
経常利益

13,636百万円



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

12,069百万円



単位:百万円

	2019年3月期		2020年3月期	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期(予想)
売上高	115,136	267,980	162,346	318,351
営業利益	▲ 1,183	2,313	7,730	11,735
経常利益	1,293	12,523	13,636	21,898
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,433	14,770	12,069	18,820
総資産	692,648	655,288	651,501	-
純資産	465,736	450,156	452,551	-
原油CIF価格(ドル/バレル) 注	72.47	71.94	69.13	67.07
為替レート(円/ドル)	109.18	110.35	109.78	108.44

注 原油CIF価格とは、原油が日本に輸入される際の運賃や保険料を含んだ通関ベースの価格です。

財政状況等その他詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください <https://www.japex.co.jp/ir/>

会社概要・株式の状況 (2019年9月30日現在)

会社概要

商号	石油資源開発株式会社
英文社名	Japan Petroleum Exploration Co., Ltd. (JAPEX)
本社所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー
設立	1970年4月1日
資本金	14,288,694,000円
従業員数	1,741名(連結) ※2019年3月31日現在
事業内容	石油、天然ガスおよびその他のエネルギー資源の探鉱、開発、生産、販売とこれらに関連する掘削等の請負事業ほか
事業所等	本社、北海道事業所、秋田事業所、長岡事業所、相馬事業所、仙台事務所、技術研究所、ヒューストン事務所、ジャカルタ事務所、アバディーン事務所、ドバイ事務所、シンガポール事務所

取締役・監査役 (2019年11月1日現在)

代表取締役会長	渡辺 修
代表取締役社長 社長執行役員	藤田 昌宏
代表取締役 副社長執行役員	檜貝 洋介
取締役 専務執行役員	井上 尚久
取締役 常務執行役員	大関 和彦
取締役 常務執行役員	伊藤 元
取締役 常務執行役員	平田 敏幸
取締役 常務執行役員	山下 通郎
取締役 常務執行役員	石井 美孝
取締役	小島 明
取締役	伊藤 鉄男
取締役	山下 ゆかり
常勤監査役	内田 賢二
常勤監査役	下村 恒一
監査役	渡辺 裕泰
監査役	中島 敬雄

注1 取締役 小島明、伊藤鉄男および山下ゆかりは、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

注2 監査役 渡辺裕泰および中島敬雄は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況

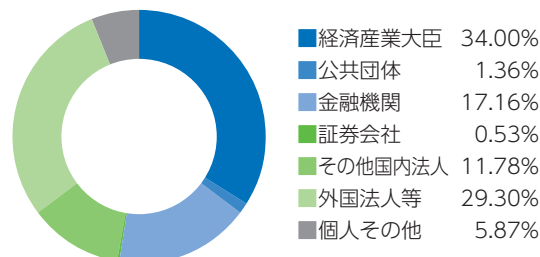
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	57,154,776株
株主数	10,753名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率
経済産業大臣	19,432,724	34.00%
国際石油開発帝石株式会社	2,852,212	4.99%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,744,200	4.80%
ORBIS SICAV	1,974,204	3.45%
JFEエンジニアリング株式会社	1,848,012	3.23%
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,690,000	2.96%
SBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,269,521	2.22%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,238,200	2.17%
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口5)	781,800	1.37%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	781,098	1.37%

株式分布状況

所有者別



注 小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	みずほ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	【証券会社に口座をお持ちの株主様】 お取引先の証券会社にお問い合わせください。なお、未払配当金のお支払いや支払 明細の発行については、下記のみずほ信託銀行の連絡先にお問い合わせください。 【特別口座の株主様(証券会社に口座をお持ちでない株主様)】 みずほ信託銀行の下記の連絡先にお問い合わせください。 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-288-324(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
証券コード	1662(東証第一部)

見通しに関する注意事項

この「石油資源開発ビジネスレポート」に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的な事実ではないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

JAPEX

石油資源開発株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー

【株主様窓口】

総務法務部文書グループ 電話: 03-6268-7001

【IRに関するお問い合わせ】

広報IR部IRグループ 電話: 03-6268-7111

ウェブサイト <https://www.japex.co.jp/>



環境に配慮した
「植物油インキ」
を使用しています。